

江戸東京野菜プロジェクト通信



私たちが「幻の高倉大根」を守ります！

一学期末に顧問の先生から、現在の八王子市で繊維工業が盛んな時代に女工さんらが多く利用していた『高倉大根』の新聞記事を紹介されました。現在では2軒の農家さんしか生産しておらず、「幻の大根」と記されていました。そこで、是非とも私たちの手で「種」として種子を守りたいと思い、『高倉大根』栽培の第一人者である立川太三郎さんを訪ね、お話を伺いました。

立川さんの話はどれも貴重な話で、私たちの心に響くものばかりでした。加えて、立川さんから高倉大根の種子まで分けていただけて、ますます守りたくなりました。

猛暑の中、私たち高校生のために貴重なお時間をとっていただき、本当にありがとうございました！



早速「幻の高倉大根」を栽培してみました！

瑞穂町内農家の長谷川さんの圃場利用ほか全面支援の下、栽培を始めました。播種日はとても暑かったですが、メンバー全員で元気よく発芽することを祈りました。

9月下旬には最終間引きも終わりました。葉長が5~10cmほどになっており、順調な生育状況でした。

11月中旬には収穫期を迎えました。最初は大根を抜くのに手間取ってしまい、少し苦戦しましたが、徐々にコツをつかんできて、抜くスピードが速くなった気がしました。抜いてみると、片手には持ちきれないほどのものやとても長い大根もあり、「これも、江戸東京野菜の特徴なのだ！」と実感した瞬間でもありました。収穫を終えて思ったことは、かなり抜く作業が大変なのだと思います。併せて収量調査も行いました。7本を選抜し、後日埋め戻しました。来春の採種が楽しみです。



9月8日 播種



9月23日 2回目の間引き



11月18日 収穫及び収量調査



11月21日 母本定植(埋め戻し)

瑞高祭にて展示発表を行いました！

「内藤唐辛子」を初めとした様々な江戸東京野菜の展示やプロジェクト研究活動のパネル展示、テレビ朝日系列「食彩の王国」にて取り上げていただいた「雑司ヶ谷ナス」の放映、『瑞穂七色唐辛子』の試食及びアンケート調査をさせていただきました。

ブースにお越しいただいた方は二日間で 81 名にも及びました。皆様からは「これからも頑張ってください！」や「応援しています！」などといったお言葉などを多数いただきました。また、江戸東京野菜コンシェルジュ協会の方や瑞穂町のイベント、メディア取材などで知ったという方も多くいらっしやって、認知度は確実に上がってきていると実感しました。

食品科の実習生産品の一つとして販売した『瑞穂七色唐辛子』も、好評につき完売することができました。

お越しくございました皆様、本当にありがとうございました。このプロジェクトをよりもっと発展させていこうとメンバー一同思っています。引き続きご声援のほどよろしく願いいたします！



結びに

今年は本校応援協議会発足や4年連続関東大会出場など、様々な経験が実った一年でした。加えて、事故もけがもなく無事に一年間の活動を終えることができました！来年も引き続き精進してまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

江戸東京野菜プロジェクトメンバー一同